

都道府県名：宮城県	市町村名：栗原市花山
1. 活動名 こもれびウッドランドクラブ	
<p>2. 取組の背景、目的</p> <p>平成20年4月より「宮城県こもれびの森 森林科学館」の指定管理者としてNPO法人宮城県森林インストラクター協会が受託し、施設管理を開始した。その来場者の増加と県民サービスの充実、または既存の設備の有効活用を図り、初年度より定期的な自然体験イベントの実施を目的に開始した。指定管理者である当協会の豊富な活動経験と充実したボランティア講師陣と地域の名人の方々が力をあわせて企画・運営を行い、地域の皆さんが楽しみながら自然の大切さを学べる場を提供しながら、更に、参加者同士のコミュニケーションの場の提供を目的に開催している。</p>	
3. 実施主体 特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会	
<p>4. 取組の概要</p> <p>宮城県こもれびの森の中の展示館、湿性植物園、野外炊飯場等の施設のほか隣接するブナやミズナラなどの天然林（注）をフィールドにして自然体験教室を開催している。平成22年度は開館（4月～11月）中8回開催、参加者は243名となった。1回の募集定員は30名、参加費は小学生以上有料とし、300円～500円としている。講師は原則当協会員が当たる。プログラムは植物やきのこ、昆虫、鳥、水生生物、森林、ネイチャークラフト等その時々季節性、そして、栗原市花山の自然を教材にして組み立ててある。</p> <p>（注）天然林；通称こもれびの森で一桧山（いっぴつやま）と呼ばれる県有林。樹齢200年のブナやミズナラの天然林のほか杉等の人工林。広さは1000ha。</p>	
5. 支援事業 該当なし	
<p>6. 取組等についての成果や課題</p> <p>当初計画したとおりの参加者が集まった。また、参加者の評価も高く当館のファンが増えたものと思われる。平成20年6月に発生した岩手・宮城内陸地震の影響で、平成21年度はこもれびの森（一桧山）へはアクセス出来ない状況であったが、平成22年度からアクセスが可能となった。</p>	

森林環境教育の活動事例写真添付用紙

活動名： こもれびウッドランドクラブ



森の動植物を観察し、自然の美しさに触れ癒され人工林を歩き林業の大切さを学び、時には準備した山菜を調理したり、ちまきを作ったり、ソーメン流しをしたりと、森の中で楽しむ。

これらの自然体験を通じ楽しみながら自然の大切さや林業について学び、健康的な人間の育成を図るプログラムである。



天然林の中での野鳥観察。自然の中で歩く楽しさそして、野鳥を通じて森の生き物の多様性を学び発見する。食物連鎖を理解、自然環境バランスの危うさも感じてもらう。

野鳥を通じて自然環境の大切さや自然への慈しみを感じる優しい人間を育成するプログラムである



自然の生き物達をじっくりと観察その生態を通じて自然に興味を持ってもらう。時には人為的に作ったビオトープからカブトムシ幼虫を掘り出し、ペットボトル等を再利用してカブトムシの成長を観察・育成するケースを作る。自宅で成長観察し、生き物のデリケートさや不思議を家族で共有する。小動物の生態を通じ、自然環境の大切さや命の大切さを考える人間を育成するプログラムである。



自然の素材を拾い想像力を働かせてつくるネイチャークラフトで楽しむ。完成した作品はどれも素晴らしい。誇らしげに見せ合い、大切に持ち帰る。自然の素材から色々なものが出る発見が、森を歩く楽しさになる。また、自宅に出るゴミの瓶や缶も材料になる。自然を汚さない、環境問題を考え、物作りを楽しむことによって健全な親子関係と子どもたちの創造性を育成するプログラムである。